

令和5年度 公益財団法人鍋島報効会

研究助成 募集

応募締め切り:令和4年12月28日(必着)

鍋島報効会では佐賀の歴史や文化、自然環境、社会活動に関する研究に対し広く公募し、助成を行っています。

論文コース／上限25万円

◆ 高校生以上、39歳以下(グループ研究可)

佐賀に関連する研究に対し助成します。分野は、人文科学及び自然科学の幅広い分野を対象とします。

探究活動コース／上限20万円

◆ 佐賀県内の小学校～大学に通う児童・生徒・学生

佐賀県内で行われる、研究行為に準ずる探究活動に対し助成します。学校内外いずれにおける探究活動も対象に含みます。

郵送にてご提出ください。詳しくは当財団HPをご確認ください。



公益財団法人鍋島報効会(徴古館)

〒840-0831 佐賀市松原2丁目5-22

☎0952-23-4200 ✉info@nabeshima.or.jp

🌐URL <https://www.nabeshima.or.jp/main.php/512.html>



鍋島報効会では佐賀の歴史や文化、自然環境、社会活動などについて、よりよき研究を深め、その成果を県民の方々に啓蒙・普及していくことが、郷土の学術の振興及び文化の充実・発展に寄与するものと考え、研究助成事業を行っています。この助成が、若い世代の方々にとってこれから研究を志す上での糧となること、また将来を担う子どもたちが郷土に目を向け知的探求心を育むことを期待し、これを広く一般公募するものです。

「論文コース」助成研究テーマ事例

学生や若手研究者の支援を目的とし、平成13年度より助成を行っています。研究の成果は、翌年度に開催する研究報告会にてご報告して頂くとともに、隔年で刊行している報告書(当財団発行)に論文を掲載いたします。

【歴史】

- ・「佐賀藩士深江氏旧蔵文書の復元による「家意識」の検討」(令和3年度)
- ・「脊振弁財嶽国境争論と鍋島氏」(平成21年度)

【美術・工芸】

- ・「柿右衛門窯の御用注文品について」(令和4年度)
- ・「日本近代洋画における琳派の受容 一岡田三郎助の場合」(平成17年度)

【生物学】

- ・「佐賀平野および有明海の生物相調査」(平成14年度)
- ・「カプトガニ研究報告 伊万里高校内のアリの分布調査」(平成13年度)

【気象学】

- ・「佐賀県における農業気象災害の変遷と回避・減災対策の提案」(平成19年度)



令和3年度研究者による報告会の様子

「探究活動コース」助成事例

「探究活動コース」は若い世代や子供たちに、より一層郷土へ目を向けてもらえるよう令和4年度に新設しました。

佐賀市少年少女発明クラブの活動



佐賀市内の小学4年生～中学3年生を対象にアイデア工作をされている活動クラブです。学校や学年の垣根を越えて、指導員の先生方と一緒に年30回の工作活動をされています。令和4年度はクラブ活動で使用する材料費や関連図書の購入に対して助成を行いました。

佐賀市立鍋島中学校の活動



生徒会を中心に、使い捨てカイロを再利用して浄化装置を作り、河川浄化など環境に関する活動をされています。学校だけでなく地域を巻き込みながら、生徒さん自らが考え活動されています。令和4年度は活動に必要な機械の購入や広報活動に対して助成を行いました。

申請書の提出・お問合せ先

公益財団法人鍋島報効会(徴古館)

〒840-0831 佐賀市松原2丁目5-22

☎ 0952-23-4200 ✉ info@nabeshima.or.jp